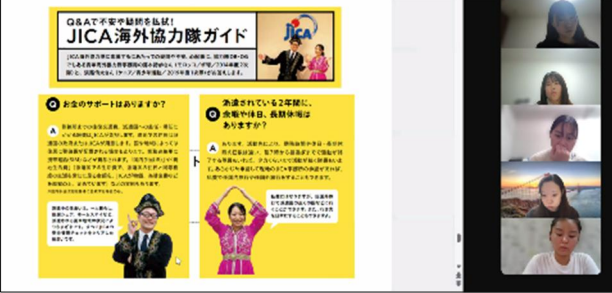
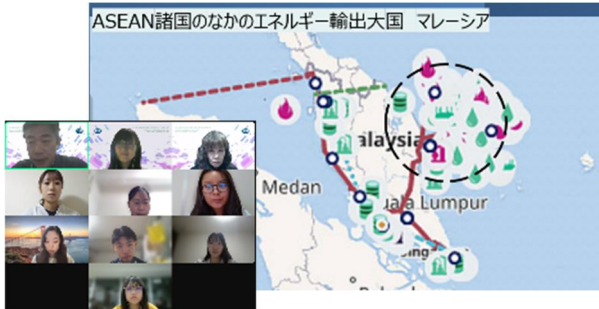


- 12月5日（金曜日） 【学校交流・視察】
スルタン・ザイナル・アビディン大学（UniSZA）
・Kenyir 湖視察、野鳥観察
【学校交流】マレーシア・トレンガヌ大学（UMT）とスルタン・ザイナル・アビディン大学（UniSZA）の合同開催
・日本の魅力紹介プレゼンテーション
・交流（盆踊り）
- 12月6日（土曜日） 【視察】クリスタルモスクと中華街
【ホストファミリー対面式・ホームビジット】
マレーシア国内線で、トレンガヌからクアラルンプールへ
- 12月7日（日曜日） 【視察】ペトロナスツインタワー、スリア KLCC
【ワークショップ】報告会準備（渡航成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）
- 12月8日（月曜日） 【報告会】渡航成果・帰国後の活動計画発表
【視察】イスラム美術館、セントラルマーケット
クアラルンプール国際空港より出発
- 12月9日（火曜日） 成田国際空港到着

2. 記録写真

プレプログラム（オンライン事前学習）

	
8月26日【講義】 「ようこそ、日本アセアンセンターへ」	8月26日【講義】 記念撮影
	
11月12日【講義】派遣国理解講義 「ODA と東方政策にかかる活動について」	11月12日【講義】 記念撮影

 11 月 21 日【参加者説明会】	 11 月 21 日【参加者説明会】
--	---

派遣プログラム

 12 月 3 日【表敬訪問・講義】在マレーシア日本国大使館 松尾 圭吾 二等書記官	 12 月 4 日【学校交流・視察・文化体験】マレーシア・トレンガヌ大学（UMT）と交流（Setiu 湿原にて）
 12 月 4 日【学校交流・視察・文化体験】UMT と交流（伝統料理作り）	 12 月 5 日【学校交流・視察】スルタン・ザイナル・アビディン大学（UniSZA）と交流（Kenyir 湖視察・野鳥観察）
 12 月 5 日【学校交流】UMT、UniSZA 合同開催	 12 月 5 日【学校交流】UMT、UniSZA 合同開催



12月5日【学校交流】UMT、UniSZA 合同開催



12月6日【視察】クリスタルモスク



12月6日【ホームビジット】



12月7日【視察】ペトロナスツインタワー



12月8日【報告会】集合写真



12月8日【視察】イスラム美術館

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 大学生

トレンガヌを訪れる機会を得られたことに、心より感謝しております。

大都市であるクアラルンプールは魅力にあふれていますが、良くも悪くも国際都市としての共通性が強く、その国独自の文化に深く触れるのが難しいと感じました。一方、トレンガヌでは、地元の方々から文化・歴史・自然などについてお話を伺うだけでなく、身体と心でその魅力を体感し、学び、つながれたという体感があったとともに、マレーシアの本質的な部分をみることができたように思います。

◆ 大学生

トレンガヌにてマレーシア式の食べ方で食事をし、マレーシアの文化を直に感じられました。

◆ 大学生

ホームビジットでは、現地のご家庭の生活スタイルや食生活などを、実際に現地の方から学ぶことができました。マレーシアの宗教についても、実際にベールを着用させてもらう機会があり、貴重な経験となりましたし、現地の文化に最も密接に触れることができた、大変印象深い経験でした。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 交流校関係者

本当に楽しい交流イベントになりました。盆踊りでは日本の浴衣が美しく印象的でした。

日本を知らないマレーシアの生徒たちには日本語、日本文化を知る貴重な経験となりました。

◆ ホストファミリー

日本の学生さんは、皆可愛らしい方でした。もっと長い時間をかけて交流を楽しみたかったです。

◆ 講師

交流事業に参加した学生の高い意識と語学力のレベルの高さに正直驚きました。皆さんがまたマレーシアに来てくれることを楽しみにしております。

5. 参加者の対外発信（抜粋）

 午前中はKenyer lakeでバードウォッチング、午後はUNISZAでプレゼンを行い、盆踊りをして盛り上がりました。 #JENESYS2025	 文化交流！ 楽しかった！
2025 年 12 月 5 日（Instagram） 午前中はケニル湖 でバードウォッチング、午後はUniSZ A でプレゼンを行い、盆踊りをしてもらいました。	2025 年 12 月 5 日（Instagram） 文化交流を楽しみました。



2026 年 1 月 3 日 (note)

「JENESYS2025 マレーシア派遣 Day4 (12/5)」

本日の一大イベント、日本文化紹介です。UniSZA を訪れ、日本文化に関するプレゼンテーションを行いました。

この日に向けてマレーシア渡航前からメンバーと準備してきました。内容は日本の地域紹介と、盆踊りについてです。派遣メンバーは、北は北海道、南は沖縄と日本中から集まりました。それぞれの地元を紹介することで、あらゆる側面から日本文化を紹介できるということで、このテーマでプレゼンする事になりました。

今回は千葉、大阪、滋賀、沖縄の四つの県について紹介しました。

観光名所、お祭り、産業、食べ物、方言など、それぞれの地域の特色について紹介しました。私自身も改めて日本文化の多様さに驚きました。特に方言を紹介したときはマレーシアの学生さんも盛り上がってくれました。

その後、盆踊りについてのプレゼンテーションと実演を行いました。

まず、浴衣や法被を着て、視覚的にお祭りの雰囲気を感じてもらえるようにしました。

盆踊りの起源、宗教的な意味、地域による盆踊りの種類などについて説明し、炭坑節の振りを練習した後、音楽をかけて一緒に踊りました。

初めはイスラム教の文化が根強いトレンガヌで盆踊りを踊るのは大丈夫なのかと不安がありましたが、その心配は必要なく盆踊りを純粋にエンターテインメントとして楽しんでくれました。

現地の学生はノリがよく、踊りだけでなく「ちょちょんがちょん」などの掛け声もやってくれました。入念に準備した日本文化紹介が成功してとても良かったです。

2026 年 1 月 9 日 (note)

「JENESYS 2025 マレーシア派遣を振り返って」

トレンガヌでの体験はとても意味のあるものでした。トレンガヌ州はマレー系が多いことが特徴で、イスラム教の文化が色濃く反映された地域です。

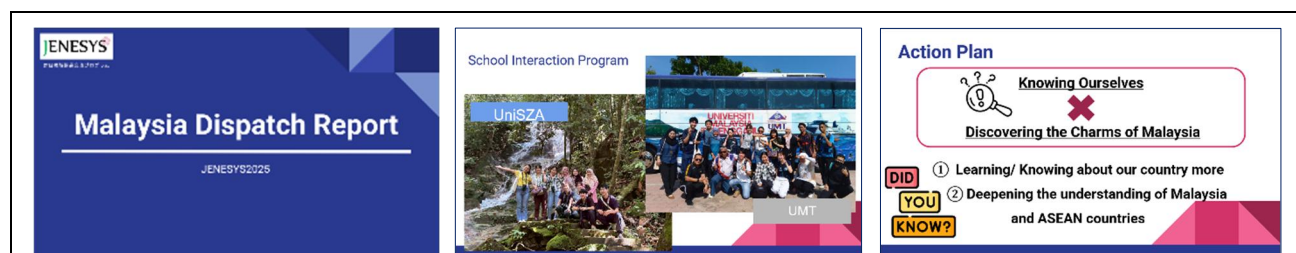
また、クアラルンプールなどの都心部と比べると観光地化されていません。トレンガヌに行ったからこそ真のマレーシアを見られたのではないかと思います。

以前は「クアラルンプールに行かなければマレーシアに行ったとは言えない」と考えていました。

でも今は、「トレンガヌを見たからマレーシアへの理解が深まった」と言えます。

6. 報告会での渡航成果とアクション・プラン発表（抜粋）

全 1 グループ発表



【成果の発表】

◆ マレーシアで気づいた日本の魅力

日本では、都市部と地方のインフラ格差が小さく、歩行者優先の交通ルールが徹底されていますが、マレーシアでは車優先の傾向が見られました。また、マレーシアでは日本企業や日本文化が広く受け入れられていました。

◆ マレーシアの魅力、学び、その他

マレーシアは、多民族・多宗教社会でありながら、文化や食、伝統衣装が調和して共存しており、人々は家族を大切にするフレンドリーな気質をもっています。また、異文化への配慮も感じられ、日本文化も広く受け入れられていました。

【アクション・プラン】

日本と ASEAN 諸国との関係強化のためのオンライン文化交流プログラムを実施します。

この交流プログラムは、日本在住のマレーシア人だけではなく ASEAN 諸国の人々や、国際交流に関心のある日本人を対象としています。目的は、日本についての理解を深めるとともに、日本在住の ASEAN 諸国の人々の生活基盤を支援することです。

開催前に SNS や大学でイベント情報を告知し、20 名以上の参加者を募集します。また、日本及び ASEAN 諸国について事前学習を行います。開催期間中は、自己紹介や活動紹介、JENESYS の説明などを行い、ゲームやオンラインツール Kahoot!（参加者がリアルタイムでクイズに回答し、楽しみながら学べる学習プラットフォーム）を用いた文化交流を実施します。可能であれば対面での交流も実施します。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）